

# 夢きよく 道はるか



## 集大成 ～ 卒業する3年生へ ～

コロナ禍であった令和2年度。臨時休養の延長や、修学旅行の中止など、先が見えない不安と戦う毎日でした。それでも、5月25日の学校再開の日から、教育活動をとめることなく、今日までやってくることができたのは、3年生の皆さんが東中のリーダーとして、学校全体を引っ張ってくれたからです。皆さんは何か行事が終わると、「先生方のおかげで、、、」と言ってくれますが、先生方は、皆さんに感謝したい気持ちで一杯です。



生徒会の会議や行事があって、教室や体育館に入ろうとすると、入り口にいる3年生が、アルコールの消毒液を持って待っていて、手にかけてくれます。何かをやる時、そのことだけをやるのではなく、そのベースとなる感染症対応を、生徒自らも東中に根付かせてくれました。実施が難しい内容は、そのやり方を工夫し、コロナ禍だからということではない将来を見据えた新しい方法を創造してくれました。そして、何より感謝したいのは、「想う」ことの大切さを訴え続けてくれたこと。だからこそ、未来に続くリモートなどの取組が無機質な冷たいものではなく、心の通うあたたかいものになりました。

明日、義務教育を終える3年生の皆さん。皆さんは立派に中学校生活をやり遂げようとしています。特に今年1年は、多くの困難をのり越えてきました。東中の卒業生として、自信をもって羽ばたいていってください。コロナ禍で、私自身、人との関わりが制限される年度の校長でしたが、3年生の皆さんの笑顔が大好きでした。私ばかりでなく、皆さん一人ひとりの笑顔に勇気をもることができた人も多かったように思います。令和3年3月11日、皆さんの笑顔が最高の輝きであることを期待しています。

